

福島市須南農業協同組合（JA福島市須南）



代表理事組合長	高橋 茂雄	役員数	18名
所在地	〒960福島市 八木田字神明150 ☎0245-46-3211	理事	15名（うち常勤 1名）
設立年月日	昭和36年9月1日	監事	3名
		職員数	62名（男37名 女25名）
		臨時	12名

I 地区の概況

当地区は福島市の西南に位置し、県庁より約2.5km近距離の八木田地区内に当組合の本所がある。この本所（吉井田）の南の方向に杉妻地区、西の方向に荒井地区があり、当組合は昭和36年9月に3地区の組合が合併して誕生した合併農協である。

夏は盆地特有の気候で非常に蒸し暑くなる。この自然条件の中、主な農産物は水稻、もも、りんご、こんにゃく、野菜等であり、特にりんごは大玉でおいしい「サンふじ」、こんにゃく

は荒井地区の特産「須南のこんにゃく」として全国一の品質を誇っている。

耕地面積は約700haとなっており、農産物の取扱高は約5億円。中でも花卉、にら、チェリートマト、いちごなど振興作物の積極的な推進が図られてきた。

近年荒井地区では、土地基盤整備事業による大区画圃場の造成により、農業生産意欲の向上と高能率農業に期待が寄せられている。

Ⅱ 50年のあゆみ

1 地区農業の変遷

古くから米麦、養蚕主体の当地区農業は、戦争終結とともに荒廃した農村を立直すべく、酪農、果樹、養鶏などを導入して多品目多角経営で推移してきた。

養蚕は昭和47年以降大幅に減少し、水稻の減反とも重りもも、りんごなどの果樹が植えられ、さらに市街地近郊は地の利を生かした軟弱野菜、また畜産等を組合わせた複合農業経営が進行してきた。特に荒井地区においては特産の「こんにゃく」栽培を組み入れた経営が広まった。

しかし引き続く兼業化の進行は、農地の潰廃と非農家との混住化を引起こし、集落を単位とした農村社会の生産組織を弱体化させる要因となり、農業経営環境の悪化をもたらしてきた。

近年、水稻においてはコシヒカリ・ひとめぼれの安定多収が確立し、さらにりんごにおける「ふじ」への品種更新、さくらんぼの新規果樹の作付、黄カラー、トルコキキョウ、小菊等の花卉栽培の取組みが進められてきた。また荒井地区における基盤整備のされた圃場にはいちご、チェリートマト、にら等の振興作物の栽培も目立ってきている。

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

年次		25	35	40	50	60	2
項目							
総農家戸数	(戸)	1,099	1,136	1,091	1,015	929	901
	うち 専業 (戸)	547	344	181	105	101	78
	I 種兼業 (戸)	373	501	475	319	192	87
	II 種兼業 (戸)	179	291	435	591	636	736
経営耕地面積	(ha)	1,121	1,155	1,036	887	775	757
	うち 田 (ha)	625	592	503	402	370	366
	畑 (ha)	280	340	284	283	206	201
	樹園地 (ha)	216	223	249	202	199	190
	うち桑園 (ha)	177	140	109	75	56	31
収穫面積	稲 (ha)	602	581	494	382	330	342
	麦 類 (ha)	165	115	55	35	14	2
	野菜 類 (ha)	25	40	60	66	70	45
	うちきゅうり (ha)	9	12	13	16	18	5
	果実 類 (ha)	36	95	116	120	123	127
	飼料用作物 (ha)	10	20	28	39	42	22
	たばこ (ha)	1	1	1			
飼育頭羽数	乳用牛 (頭)	88	182	182	151	105	60
	肉用牛 (頭)	293	275	198	177	57	36
	豚 (頭)	40	120	195	420	1,200	1,100
	にわとり (千羽)	4	15	17	11	10	10

2 経営の推移

吉井田、杉妻、荒井の3組合はそれぞれ戦後の新時代に適応する農業づくりと、組合経営に邁進したが、一時期経営不振に陥り、整特法の再建措置により経営はようやく安定した。昭和35年高度経済成長の幕開けとともに農村社会構造の変化が予測される中、36年農協合併助成法制定により、組合組織の規模を行政単位に拡大する方針が示され、このような時代の趨勢を的確にとらえ36年合併するに至った。

合併後、40年頃までの経営基盤形成期においては、合併によるメリットがみられ財務は確実

に好転した。また、特殊生産組合の組合統合等組織再編が図られた。さらに購買店舗の新築拡張等も整備実行された。

50年頃までの経営安定期においては、米価の据置、さらに総合農政の展開による米の生産調整等厳しさが増す中、増資5か年計画の樹立により、本所事務所、荒井事務所の新築が行われた。

後半の経営発展期においては、農協法公布30年記念農協まつりの実施、Aコープ吉井田店の新築、こんにゃく荒粉加工場の完成など施設の充実が図られた。さらに信用事業の基盤確立を期しての電算オンラインシステムを導入する

図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

年度 項目		24	30	36 (合併年度)	40	50	60	5
正組合員戸数(戸)		337	1,073	1,023	1,012	974	911	884
准組合員戸数(戸)		136	228	135	156	308	339	527
資 産	余 裕 金	3,824	16,060	51,491	121,755	1,503,175	3,985,180	9,194,329
	貸 出 金	310	30,153	44,137	71,569	492,478	1,064,768	819,762
	その他流動資産	1,205	18,543	26,460	36,916	281,336	480,738	512,236
	固 定 資 産	474	4,007	10,470	18,778	131,582	205,085	185,151
	外 部 出 資	69	3,402	4,970	8,213	26,582	72,516	107,210
負 債 及 び 資 本	貯 金	8,944	37,038	103,231	216,635	2,093,898	5,078,643	9,581,126
	借 入 金		24,203	5,496	995	3,971		
	そ の 他 負 債		3,054	13,785	21,180	252,367	474,509	883,356
	出 資 金	421	8,074	15,551	19,071	68,787	182,292	200,676
	積 立 金	17	103			9,072	47,600	147,200
主 な 事 業 実 績	剰 余 金	-28	-307	-535	-650	7,058	25,243	6,330
	販 売 取 扱 高	19,634	69,106	115,365	196,965	745,319	936,857	427,563
	うち 米 穀		46,143	93,984	115,328	275,987	277,339	40,474
	青 果 物		2,275	5,063	57,289	216,736	269,797	171,680
	畜 産 物		8,700	9,701	10,055	31,307	14,204	3,492
	そ の 他		11,988	6,617	14,293	221,289	375,517	211,917
	購 買 取 扱 高	4,355	51,436	69,845	124,384	443,352	1,001,427	729,838
	うち 生産資材		28,774	50,551	74,194	240,366	390,823	342,195
	生活資材		22,662	19,294	50,190	202,986	610,604	387,643
	長期共済保有高			272	433	14,068	43,565	74,659

(注) 合併以前の年度は合併参加農協の合計 24年度は資料不足のため吉井田村農協のみ

等、あらゆる事業の電算化がなされ効率的事業運営が確立された。特に60年には本所にATMを設置する等、地域に親しまれる金融店舗をめざして積極的な取組により、一段と金融自由化が加速される中、組合員のための事業運営の合理化、財務基盤の拡充強化を図った。

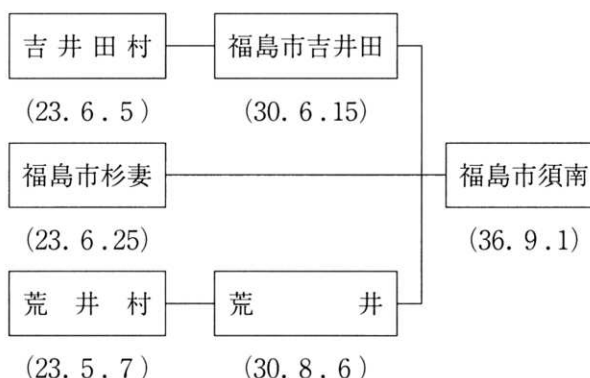
ここ数年の経済界の動きは激しく、農村内部においても畜産、青果を中心とする企業的農業の著しい伸長、大企業の進出にともなう農業労働力の移動、兼業農家の増加等、組合員の経営内容は大きく変わり、農協もこれに対応すべくさらなる体制の整備が迫られてきた。

3 合併の経過

設立後、経営不振の組合も再建措置により立て直しをみせる中、昭和33年福島市は農政の重点政策として市内一円の農協合併を提唱した。

これにより吉井田、杉妻、荒井、佐倉は第4ブロックとして具体的合併検討に入った。この間たび重なる調査、分析、研究の討議は35年3月まで続き、組合員の合併に対する関心は高められ、36年2月合併準備委員会は合併予備契約書及び覚書等の原案を作成し、同3月これら審議決定し合併契約の締結に至った。同5月おのおの合併総会を招集し、満場一致で決議を得たが、設立委員会の役員人事問題から佐倉農協は意見の一致が得られず合併不参加となった。一方、残った3組合は緊急善後策を協議し、3組

図表3 合併等の経緯



合で合併することに踏切り、再度7月それぞれ合併総会を開催、決議を得て新組合の具体的必要事項の調整を行った。

かくして、理事25名、監事10名、計35名の役員定数とし、初代組合長に景井満佑、常務については合併初年度でもあり、組合員感情や支所業務体制の整備、さらに関係団体との連絡強化のため、過渡的に旧福島市杉妻農協組合長鈴木重晴、旧荒井農協組合長加藤善吾を選任した。同年9月1日合併登記を済ませ、新組合として「福島市須南農業協同組合」がここに誕生した。

初年度決算では、経営安定のため当面回収困難な固定化債権を一時簿外処理し、回収に努めた結果、財務面での基礎は著しく強化された。これにより十分な余力のもと、旧組合の借入金の返済を可能にし、合併の効果を実証した。

翌年3月最初の通常総会が、福島市公会堂において盛大に開催された。ここで役員改選があり、理事15名、監事3名が選任され、この役員定数は現在まで続いた。

合併組合は組合員サービスを第1に、地区内農産物に付加価値を付け、組合員収入増大を図るため、あらゆる施策がすすめられてきた。

図表4 合併参加農協の概要

組 合 名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
福島市吉井田	景井満佑	330	12	8
福島市杉妻	鈴木重晴	363	12	11
荒井	加藤善吾	358	9	7

Ⅲ 年 表

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
23年		7.18	給油所建設認可申請（仙台通産局）
5. 7	荒井村農業協同組合発足	44年	
6. 5	吉井田村農業協同組合発足	10. 8	こんにゃく部会設立総会
6.25	福島市杉妻農業協同組合発足	45年	
30年		3.30	こんにゃく 荒粉乾燥場新築工事竣工
5.30	貯蓄成績優良 農林中金支店長表彰受賞（吉井田）	11.20	大型トラクター取得
6.15	福島市吉井田農業協同組合に名称変更	12.13	大型農業機械格納庫新築工事竣工
8. 6	荒井農業協同組合に名称変更	46年	
33年		8.11	果樹共選場操業祝賀会
5.30	経済連 系統利用優良表彰（吉井田）	12. 3	長期共済高額契約者招待（上ノ山温泉）
6.30	整備特別措置法の適用を受ける（荒井）	48年	
9.30	整備特別措置法の適用を受ける（杉妻）	11. 6	長期共済高額契約者招待（塩原温泉）
34年		49年	
5.29	貯蓄成績優良 農林中金支店長表彰受賞（吉井田）	2.14	本所事務所新築落成祝賀会
36年		10.31	長期共済高額契約者招待（鬼怒川温泉）
5.30	経済連 系統利用優秀表彰（吉井田）	11.27	本所事務所新築・共選場開設10周年記念第1回農協祭開催
9. 1	福島市吉井田農協、福島市杉妻農協、荒井農協が合併して福島市須南農業協同組合発足	50年	
9.12	設立記念大会	6. 9	大電害発生 被害皆無換算面積170ha
37年		9.30	長期共済高額契約者招待（犬吠岬）
3.25	第1回通常総会	11. 8	第2回農協まつり
9. 3	須南・佐倉農事放送開通祝賀式典	51年	
9. 4	畜産部和牛吉井田支部結成総会	5.18	給油所新築オープン
9.12	全共連 優績組合表彰受賞	9.12	長期共済高額契約者招待（奥日光）
38年		11.13	第3回農協まつり
1.20	農協法公布15周年記念1日皆貯金運動	11.30	荒井支所事務所新築工事竣工
3.22	婦人部設立総会	52年	
5. 7	田沢購買倉庫落成祝賀式	8.31	長期共済高額契約者招待（草津善光寺）
39年		11.12	農協法公布30周年記念第4回農協まつり
4.29	凍霜害発生 被害農家715戸 被害額9631万円 被害率79%	53年	
5.27	凍霜害国会陳情	8.18	臨時総会（Aコープ吉井田店新築、電算オンライン基金造成）
40年		9. 1	長期共済高額契約者招待（湯殿山）
2. 1	臨時総会（果樹共選場設置）	11.22	Aコープ吉井田店オープン
3.25	果樹部結成	11.22	第5回農協まつり
6.25	果樹共選場落成式	54年	
41年		4. 6	第2 こんにゃく 荒粉乾燥場新築工事竣工
12.23	増資5ヶ年計画農事組合長会議	8.21	水稻部会設立総会
42年		8.30	長期共済高額契約者招待（石和温泉）
4. 1	福島酪農組合と生乳輸送契約締結	11.10	第6回農協まつり
43年		55年	
4. 4	和牛部会設立総会	8.29	長期共済高額契約者招待（鎌倉・箱根）
		9.10	異常気象対策協議会
		11. 1	資材倉庫新築工事竣工
		11. 8	第7回農協まつり

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
56年		5.19	全共連 優績組合表彰受賞
2. 1	オンラインシステム導入	7. 9	「Fresh アップ'90作戦」スタート
8.27	長期共済高額契約者招待（鳴子温泉）	8.25	共済専用端末機導入
11. 7	第8回農協まつり	9. 1	長期共済高額契約者招待（湯の浜温泉）
11.14	農協合併20周年記念式典及び記念講演会	11.12	第15回農協まつり
57年		元年	
2.26	地域農業振興計画樹立	1.22	第1回職場改善サークル活動発表大会
3.19	増資5か年計画農事組合長会議	1.25	臨時総会（県畜連脱退）
6.21	信用事業オンラインスタート	3. 2	荒井の農業を語る会
8.31	長期共済高額契約者招待（五浦温泉）	5.18	全共連 優績組合表彰受賞
11. 2	第9回農協まつり	9. 4	長期共済高額契約者招待（塩原温泉）
58年		11.11	第16回農協まつり
2. 1	購買事業オフラインスタート	12.19	長期共済億友会設立総会
5. 1	米麦事業電算システム導入	2年	
5.20	全共連 優績組合表彰受賞	1.24	市こんにゃく生産協議会発足30周年記念式典
8. 1	給油所POSシステム導入	5.17	全共連 優績組合表彰受賞
8.22	年金友の会結成	6. 6	そ菜部会設立
9. 1	共済事業電算システム導入	7.11	定期積金増強キャンペーン
9. 1	長期共済高額契約者招待（川治温泉）	9. 4	長期共済高額契約者招待（鬼怒川温泉）
10.14	ミョウガ部会結成	11.10	NOKYOフェスティバル'90（第17回農協まつり）
11.12	第10回農協まつり	12. 9	吉井田支所サンデーバンキングスタート
59年		3年	
2.13	農協貯金ネットサービススタート	5.23	全共連 優績組合表彰受賞（5年連続）
7.31	出資金電算システム導入	10.12	農協合併30周年記念大会（青少年会館）
8.29	長期共済高額契約者招待（秋保温泉）	11. 9	NOKYOフェスティバル'91
10.30	固定資産管理電算システム導入	11.21	共済億友会総会（万石浦観光ホテル）
11.10	第11回農協まつり	11.26	長期共済高額契約者招待（会津東山）
60年		12.10	農業税務申告指導会
7.19	吉井田支所ATMスタート	12.31	年末貯金増強キャンペーン100億円達成
8.29	長期共済高額契約者招待（金華山）	4年	
11. 9	第12回農協まつり	1.30	こんにゃく振興共進会10年連続団体優勝祝賀会
61年		2.17	福島市JA合併研究会設立総会
7. 5	職員能力開発訓練研修会	2.20	健康増進活動（年金友の会・婦人部）
7.18	杉妻支所、荒井支所ATMスタート	5.18	県共同バンクPOSサービス開始
8. 8	8・5水害対策会議	5.21	JA全共連 優績組合表彰受賞
8.26	長期共済高額契約者招待（大内宿）	7. 6	吉井田支所窓口テラズマシーン導入
11. 8	第13回農協まつり	8.18	JA下期事業拡大役員大会
62年		10.17	Aコープ吉井田店5周年記念大売出し
2. 9	購買オンラインシステムスタート	11. 7	NOKYOフェスティバル'92
5.21	全共連 優績組合表彰受賞	11.24	長期共済高額契約者招待（熱海温泉）
6. 1	組合長高橋茂雄 共済連専務理事就任	11.28	こんにゃく三銃士試食発表会
7.10	杉妻支所旧倉庫解体	12. 1	食材宅配事業スタート
9. 1	長期共済高額契約者招待（東北博見学）	12. 1	長期共済億友会研修総会（湯西川温泉）
10.31	Aコープ吉井田店新築落成祝賀会		
11.14	第14回農協まつり		
63年			
1.17	西部環状線地権者税務研修会		

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
5 年		10.23	臨時総会（福島市内 8 J A 合併決議）
4.12	福島市 J A 合併促進協議会設立総会	11. 6	N O K Y O フェスティバル'93
5.20	J A 全共連 優績組合表彰受賞（7 年連続）	12. 1	長期共済高額契約者招待（潮来）
7. 6	こんにゃく三銃士消費宣伝キャンペーン	12. 9	荒井地区みどりの里づくり推進協発足
9. 7	長期共済高額契約者招待（会津の旅）	6 年	
10. 1	福島市 J A 合併予備契約調印式	1.20	高橋茂雄組合長 黄綬褒章受章を祝う会
10.16	A コープ吉井田店 6 周年記念セール	1.31	J A 福島市須南解散式

Ⅳ 資 料

（平成 5 年度末現在）

1 組 合 員

（ ）は戸数

正 組 合 員		准 組 合 員		合 計	
個 人	法人	個 人	団体	個 人	法・団
1,072 (884)		603 (527)	4	1,675 (1,411)	4

4 協力組織

名 称	代 表 者	会員数
農事組合		31組合
婦人部	加 藤 モ ト	454
若妻会	景 井 トモ子	50
年金友の会	渡 辺 孝	1,015
共済億友会	尾 形 盛	104

2 役員及び参事

代表理事組合長	理事 赤 間 友 吉
高 橋 茂 雄	理事 羽 田 正 一
副組合長理事	理事 穴 戸 忠 男
尾 形 盛	理事 油 井 喜 義
理事 丹 治 清 次	理事 渡 邊 衛
理事 加 藤 友 七	
理事 佐 藤 茂 雄	代表監事
理事 手 塚 欣 一	長 澤 秀 男
理事 阿 部 三 雄	監事 加 藤 富 治
理事 岡 田 篤	監事 穴 戸 昭 吉
理事 丹 治 兵 吉	
理事 渡 辺 清 美	参事 梅 津 誠 一

5 生産部会

名 称	代 表 者	会員数
水稻部会	穴 戸 安 男	450
果樹部会	油 井 幸 雄	275
（加工もも部会）	（岡 田 清）	（77）
そさい部会	佐 藤 寿 英	45
和牛部会	阿 部 正 光	9
こんにゃく部会	斎 藤 文 吉	79

3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
37	25	62	3	1

6 主な施設

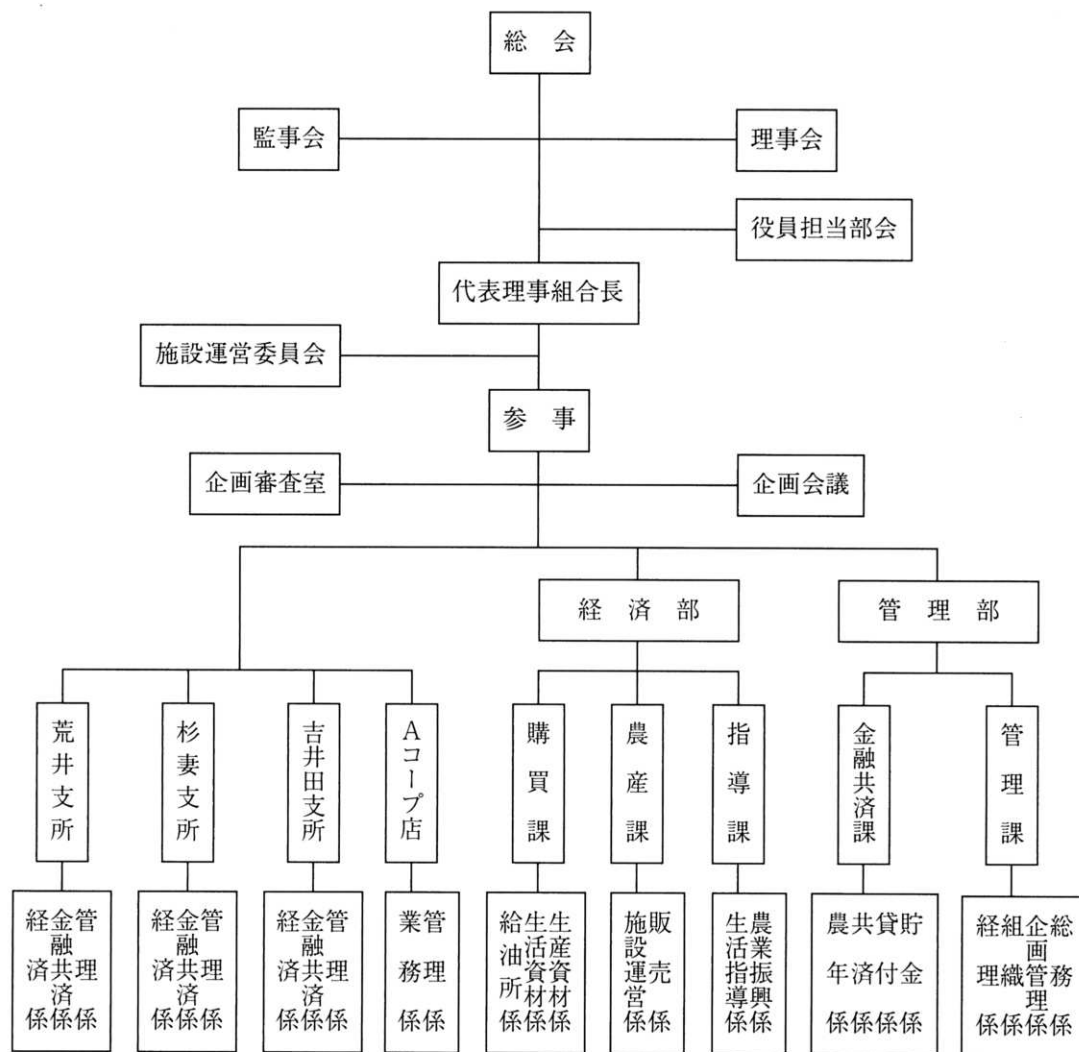
名 称	所 在 地
本 所	八木田字神明150
吉井田支所	〃 〃
杉妻 〃	伏拝字台田1
荒井 〃	荒井字高土手12
A コープ吉井田店	八木田字神明5
給油所	吉倉字柳田76
果樹共選場	仁井田字五郎内64
こんにゃく 荒粉乾燥場	荒井字台西24

7 歴代組合長・参事

組 合 長			
36～40 40～52	景井 満佑 高野 友作	52～6	高橋 茂雄

参 事			
36～58 58～4	本田 宗市 佐藤 光男	4～6	梅津 誠一

8 経営管理機構



9 合併前の歴代組合長

福島市吉井田農協

23～24	古川幸太郎	24～36	景井 満佑
-------	-------	-------	-------

荒井農協

23～24 24～32	加藤 文重 佐藤 一六	32～36	加藤 善吾
----------------	----------------	-------	-------

福島市杉妻農協

23～26	鈴木鉄太郎	31～32	尾形 徳蔵
26～27	丹治哲太郎	32～34	橋本 又吉
27～28	鈴木鉄太郎	34～36	鈴木 重晴
28～31	丹治哲太郎		